

選挙監視要員(平成14年)

平成14年4月14日、国連東ティモール暫定行政機構(UNTAET)により、東ティモールの大統領選挙が実施されました。

我が国は、国連からの要請を受け、国家公務員4名、民間人4名、計8名の選挙監視要員を派遣しました。我が国の要員は、ディリ、マナトゥト及びリキサの各県における選挙キャンペーン及び選挙準備の監視などの業務を実施しました。

投票日には、14か所の投票所において投票状況を監視し、また、投票翌日には開票状況の監視を行いました。



準備状況を確認する我が国要員

我が国選挙監視要員配置図



現地で使用する国連車両の前に立つ我が国要員



文民警察要員(平成19年)

平成18年4月、国軍離脱兵による政府への抗議活動を契機として東ティモールの治安が悪化したことを受け、同年8月、東ティモール政府からの要請により、国連安保理は、東ティモールの安定強化及び国づくり支援のため、文民警察を主体とする国連東ティモール統合ミッション(UNMIT)の設立を決定しました。

我が国は、国連からの要請を受け、平成19年1月から平成20年2月までの間、UNMITに第1次2名(平成19年1月～8月)、第2次2名(平成19年8月～平成20年2月)計4名の文民警察要員を派遣しました。我が国の要員は、首都ディリにあるUNMIT本部の文民警察部門に配置され、文民警察部門に対する助言等を行うなどの業務を実施しました。

我が国文民警察要員配置図



選挙監視要員(平成19年)

平成19年、東ティモールでは、大統領選挙が4月9日に、大統領選挙決選投票が5月9日に実施され、さらに国民議会選挙が6月30日に実施されました。

これらの一連の選挙は、平成18年末に東ティモールにおいて初めて制定された選挙法に基づく同国民の手による初の民主的選挙であり、同国の国づくりを一貫して支援してきた我が国は3次にわたり選挙監視団を派遣しました。

4月9日の大統領選挙には国家公務員5名、民間人9名、計14名の、5月9日の大統領選挙決選投票には国家公務員4名、民間人4名、計8名の、また6月30日の国民議会選挙には国家公務員5名、民間人9名、計14名の選挙監視要員を派遣しました。我が国の要員は、各地に展開し、選挙キャンペーン、投票準備、投票及び開票状況を監視しました。



開票状況の監視を行う我が国要員

■ 我が国選挙監視要員配置図



軍事連絡要員(平成22年)

我が国は、国連からの要請を受け、UNMITに対し、平成22年9月から軍事連絡要員として2名の自衛官を派遣しています。

我が国から派遣された2名のUNMIT軍事連絡要員は、担当地域内の国境監視所や村落等を訪問し、地元首長や東ティモール国軍、同国家警察、インドネシア国軍等から治安情勢等に関する情報を収集し、UNMIT本部に報告する業務を行っています。



現地に到着した我が国要員

■ UNMITの概要



■ 我が国軍事連絡要員配置図

